

平成26年度第2回経営協議会 議事要旨

日時 平成26年6月23日（月）14時00分～15時48分
場所 事務棟第二会議室
出席者 和田学長，大矢理事，鈴木理事，近藤副学長，片桐委員，
齊田委員，榊原委員，齊藤委員，舟本委員
欠席者 中松委員
陪席者 海老名理事，石橋監事，末永監事

議事に先立ち，前回（5月26日）開催の平成26年度第1回経営協議会の議事要旨の確認が行われた。

審議事項

1. 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

和田学長から，審議資料1に基づき，平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

承認後，和田学長から，本件について承認されたため，本日開催の役員会に附議した後，6月末までに提出する予定である旨発言があった。

また，文部科学省の評価委員会によるヒアリングが8月1日に開催される予定になっている旨併せて発言があった。

2. 平成25年度財務諸表及び事業報告書並びに決算報告書について

和田学長から，審議資料2に基づき，平成25年度財務諸表及び事業報告書並びに決算報告書について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

承認後，和田学長から，本件について承認されたため，本日開催の役員会に附議することとする旨発言があった。

なお，本件について意見交換が行われた。

【意見交換の主な内容】

○図書を除却については，例年10百万円分ほどの除却を行っているが，今期は附属図書館の改修に伴い，スペース上の問題から88百万円分ほどの除却を行った。

○当期純利益が赤字であるのは，臨時損失として計上した27百万のうちPCB処理引当金11百万が原因であるが，今期だけの費用であるため，次期の当期純利益はプラスになる予定である

3. 今後の概算要求及び大学改革の方向性について

和田学長から、審議資料3に基づき、今後の概算要求及び大学改革の方向性について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件について承認されたため、本日開催の役員会に附議することとする旨発言があった。

なお、本件について意見交換が行われた。

【意見交換の主な内容】

○大学改革には、地域社会や企業等の大学外からの視点を取り入れていくべきである。またこのような改革を機能させていくためには、入学者の選抜においても、意欲の高い学生を獲得する仕組みを考えていくべきである。

○大学改革を推進するうえで、改革の方向性を示すキーワードやセールスポイントが必要ではないか。大学内部で組織機能の改革・合理化の体制を整えることに終始するのではなく、改革の方向性を示すキーワードやセールスポイントにより新しい方向性を大学外へ示し、他大学との差別化を図っていくことが必要である。例えば、「No. 1 グローカル大学」のような改革の方向性を示すキーワードを決めて、大学内部でコンセンサスを取り、積極的に発信していくことが有効である。

○今後の大学改革の推進において、学生にどう意識付けしていくかが重要である。学生を巻き込み、大学全体で改革に取り組むことが社会からの認知や評価にもつながる。

報 告 事 項

1. 平成25年度資金の運用実績について

和田学長から、報告資料1に基づき、平成25年度資金の運用実績について報告があった。

2. 平成27年度概算要求（施設整備費）について

和田学長から、報告資料2に基づき、平成27年度概算要求（施設整備費）について報告があった。

3. 小樽商科大学入船団地土地建物売却の一般競争入札について

和田学長から、小樽商科大学入船団地土地建物売却の一般競争入札について報告があった。

【報告内容】

○小樽商科大学入船団地土地建物売却の一般競争入札については平成26年3月28日に公示を行い、平成26年6月9日に開札を行った結果、本学の予定価格に達せず、平成26年6月24日に再度入札を行う予定であったが、入札予定の業者が辞退したため、改めて一般競争入札の公示を行うこととなった。改めて行う一般競争入札においては、予定価格を調整していく予定である。

4. 早期退職募集制度の実施について

和田学長から、報告資料4に基づき、早期退職募集制度の実施について報告があった。

5. 最近のトピックスについて

和田学長から、報告資料5に基づき、本学の最近の動向について報告があった。

6. その他

和田学長から、次回の経営協議会については、9月29日（月）14時から開催する予定である旨、発言があった。なお、緊急の案件が生じた場合には、急遽、会議を招集させていただくことも想定されるので、その場合には、会議の開催日程を調整させていただきたい旨、併せて発言があった。

以 上